

施 策 名 (小項目)	河川改修・砂防施設整備	コード	作成者	役職	建設課長
		04-05-17		氏名	淵本 安志
			電話	64-1833	
			このシート作成に要した時間		時間

この施策の アピール ポイント	大雨による洪水・土砂災害から市民の生命・財産を守る。
-----------------------	----------------------------

この施策の 平成29年度の 施政方針	未整備及び老朽化した排水路の整備を行い、雨水による浸水被害の防止を図ります。三石地区の急傾斜地対策では、県事業で用地測量に着手してまいります。
--------------------------	---

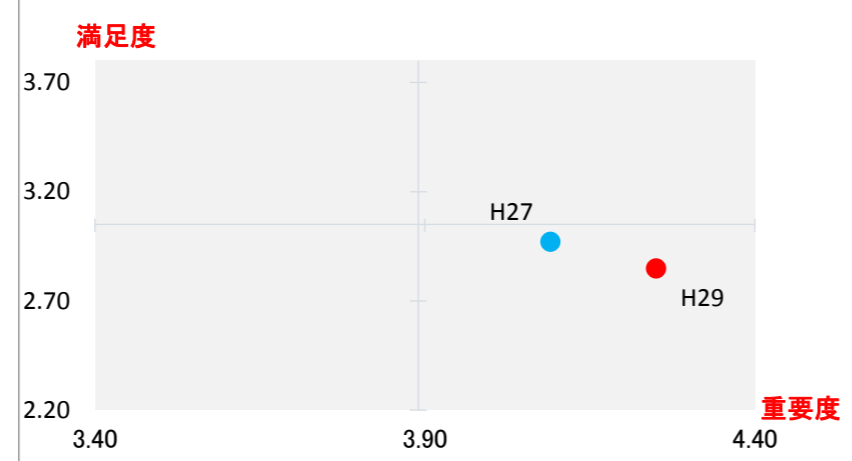
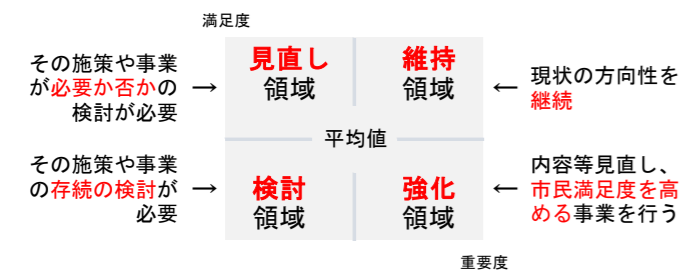
<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想（大項目）	土台となる政策「安全・安心」
	基本計画（中項目）	安全に暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の生命・財産を、洪水・土砂災害から守る。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、これまで台風による集中豪雨や高潮による大災害を経験してきましたが、河川、砂防対策を行ってきた結果、一定の効果を上げています。しかし、河川について、未整備の河川護岸が残っているほか、海沿いの低地では、高潮対策のための水門・フラップゲート（※）等の設置を進めている一方で、内水（※）の排除が引き続き課題となっています。また、急傾斜地・土石流危険渓流など、土砂災害のおそれのある箇所については、県が区域の指定を行った上で個別に対策工事を実施していますが、土砂災害のおそれのある箇所未指定のところがあります。今後も、国や県、関係機関連携のもと、河川の浚渫（※）をはじめ砂防対策を推進し、災害に強いまちづくりを進めていく必要があります。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ円滑な施設整備 急傾斜地等の整備促進 内水排除の事業化 景観への配慮 国・県への要望強化 災害等緊急時における関係機関との連携強化 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H27	H29
重要度 (%)		4.09	4.25
満足度 (%)		2.97	2.85

《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等 〔調査対象でない施策は、市民の反応等〕	災害対策に直結することから、要望が多く重要度も高いといえるが、未整備箇所・要望箇所の多さに対して整備が追いついていない状況が調査結果に顕れているものと思える
--	--

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H27	H28	H29			
成果指標 河川改良箇所	目標 箇所	9	9	9	年度ごとの改良箇所数	H32	10
	実績 箇所	7	7	4		H34	10
	達成率 %	77.8	77.8	44.4			
	ベンチマーク						
参考指標① 市民からの要望への対応	目標 %	70.0	75.0	75.0	改良・修繕箇所数/要望箇所数 34箇所/51箇所	H32	84
	実績 %	34.0	82.0	67.0		H34	85
	達成率 %	48.6	109.3	89.3			
	ベンチマーク						
参考指標② 河川清掃ボランティア参加 団体数	目標 団体	20	20	20	参加団体数	H32	20
	実績 団体	15	19	17		H34	30
	達成率 %	75.0	95.0	85.0			
	ベンチマーク						
参考指標③ 河川清掃ボランティア団体 活動実施回数	目標		60	60	活動回数	H32	60
	実績		56	47		H34	90
	達成率 %		93.3	78.3			
	ベンチマーク						

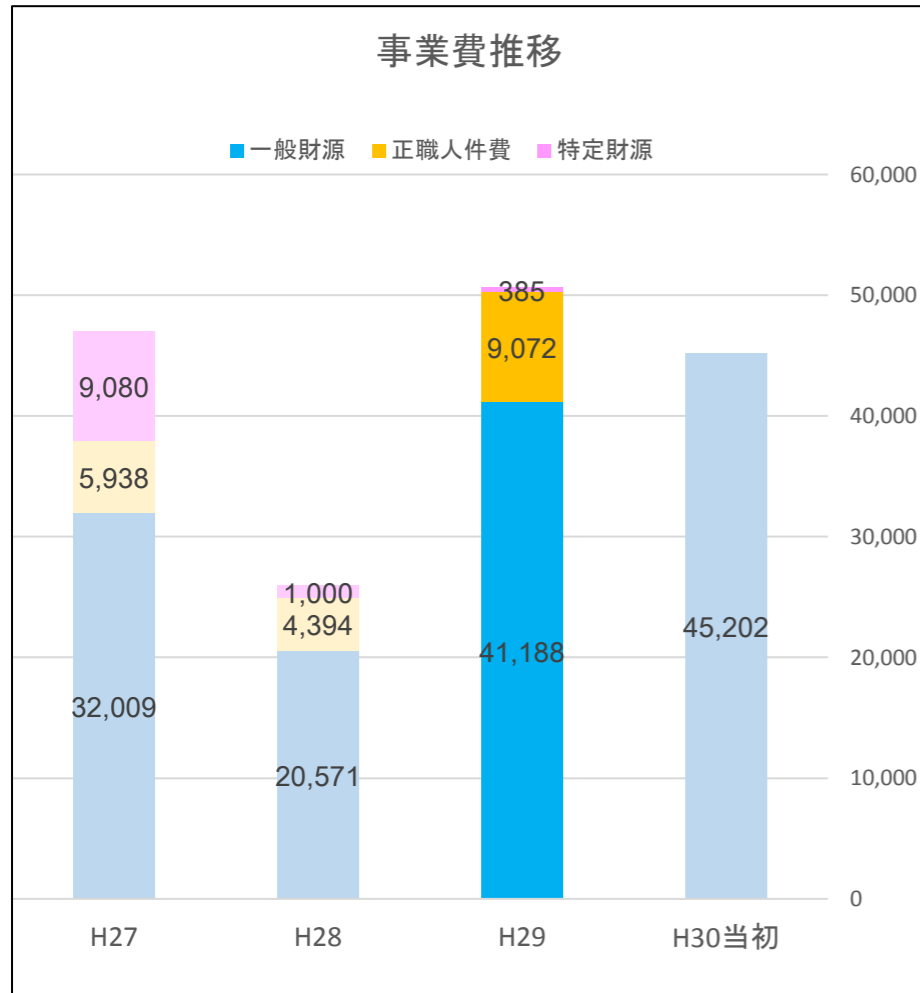
⑦ 目標達成に必要な新規事業（施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、効率的整備と効果の早期発現が期待できコストも縮減できる

⑧ 施策の評価

項 目	評価	5：非常に高い 4：高い 3：どちらともいえない 2：低い 1：非常に低い	
		判 断 理 由（なぜ、そのランクと評価したのか）	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか？	3	河川改良箇所は、災害防止のため整備を進めて行くうえで直接成果を表す指標。修繕要望に対する実施率及びボランティア参加団体数は維持管理上の指標として妥当である。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か？	3	防災機能の向上及び被災したものの復旧など河川機能の改良と維持には掲載の各事業の他に手段はないと思われ最適である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは？	3	不確定な要因が多く目標達成は厳しいが、着実に整備を進めていくことにより、中長期目標はできると見込んでいる。	
進行年度(H30年度)の取組内容 (課題解決状況)		継続中の改修工事を優先的に進めていく。県管理河川についても改修要望と調整を十分に行い早期完成を目指す。また溢水、破堤など危険箇所の局所改修を優先的に実施するとともに、土砂堆積の著しい河川について浚渫を実施できるよう浚渫土の処分場所確保の調整を進めていく。	
翌年度(H31年度)の取組目標		引き続き継続中の改修工事を進めていくとともに、県管理河川についても早期完成を目指し強力に要望していく。ボランティアや地元関係者と連携し、現状の把握や適切な維持修繕に努める。また浚渫土の処分場所の建設に着手できるよう準備を進めていく。	
二次評価者コメント		防災面から判断し地区要望の多い河川浚渫は、災害復旧事業の河川断面阻害の30%をめやすに進めて下さい。残土処分場については候補地の地元と協議を慎重に進めてください。河川等の管理におけるボランティア団体の活動は経費の削減と住民意識向上の点でもメリットが多いため、市民からの協力を得られるように努めてください。	基本施策への 貢献度 4 やや高い

施策評価シート(裏面)

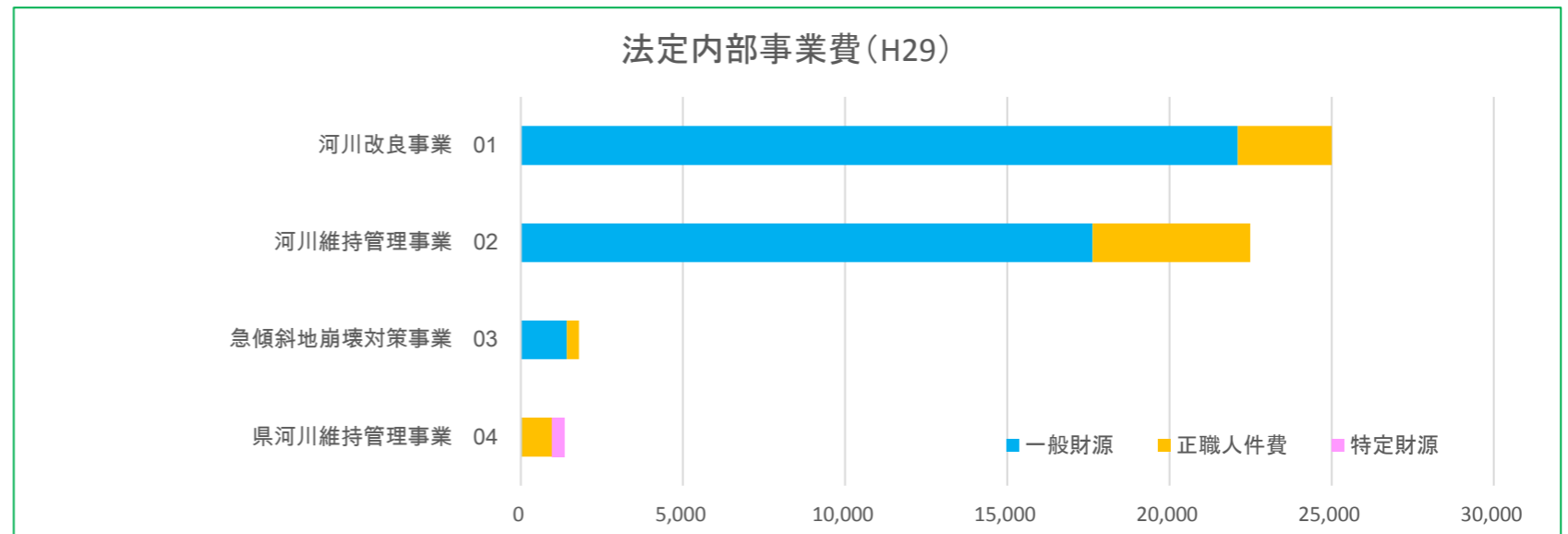
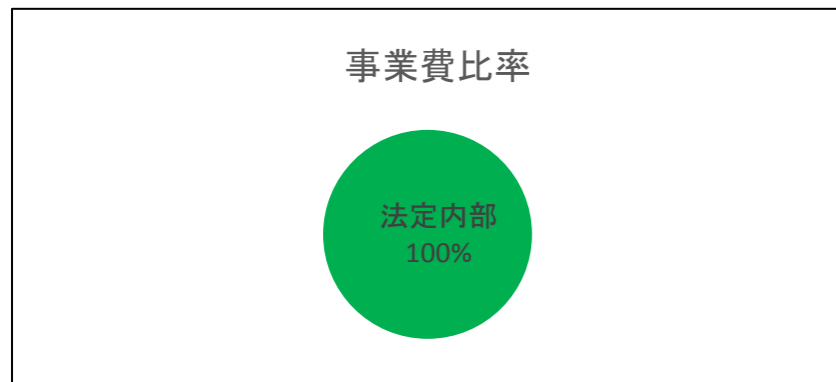


事業費

0.5 億円

特定財源

0.0 億円



5 主要河川(1級及び2級河川)

(単位 m) 平成29年3月31日現在

河川名	水源地名	流末地名	全長	備考
1級河川				
吉井川	苫田郡鏡野町	岡山市	133,273	海に至る 国交省管理
香登川	備前市香登本	瀬戸内市	7,948	千田川の合流点まで
金剛川	備前市三石	和気町	17,000	吉井川の合流点まで
船坂川	備前市三石	備前市三石	2,300	金剛川の合流点まで
五石川	備前市三石	備前市三石	2,200	金剛川の合流点まで
奥谷川	備前市野谷	備前市野谷	1,200	金剛川の合流点まで
八塔寺川	吉永町多麻・加賀美	吉永町吉永中	18,150	金剛川の合流点まで
大藤川	吉永町都留岐	吉永町都留岐	3,000	八塔寺川の合流点まで
金剛川放水路	備前市三石	備前市野谷	2,001	金剛川の合流点まで
2級河川				
馬場川	備前市伊部	備前市浦伊部	600	海に至る
新田川	備前市浦伊部	備前市浦伊部	480	海に至る
伊里川	備前市関谷	備前市穂浪	4,900	海に至る
大谷川	備前市善山	備前市友延	4,964	伊里川の合流点まで
長谷川	備前市善山	備前市善山	465	大谷川の合流点まで
持手川	備前市八木山	備前市木谷・伊里中	1,800	伊里川の合流点まで
石谷川	日生町寒河	日生町寒河	1,950	海に至る
西谷川	日生町寒河	日生町寒河	965	石谷川の合流点まで

岡山県管理
(※香登川の一部区間は備前市管理)

備前市管理

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	担当課	建設課
	基本計画	05	安全に暮らせるまち	職・氏名	土木係長 岡村 悟
	施策	17	河川改修・砂防施設整備	電話	0869-64-1835
事務事業名	01	河川改良事業		法令名	河川法

事業の説明	事業概要	・自然護岸等の河川改良工事を行い、大雨時の堤防の決壊、氾濫による浸水被害の防止を図る。			
	主な事業費	【需用費】：28,920円（消耗品費） 【工事請負費】：22,082,560円河川（改良工事）		【事業費合計】22,111,480円	
	特定財源	・香登川河川改修（その18）工事 16,599,400円			
	処理実績	工事件数 H27：7件 H28：7件 H29：4件			
	前年度からの変更点・改善点				

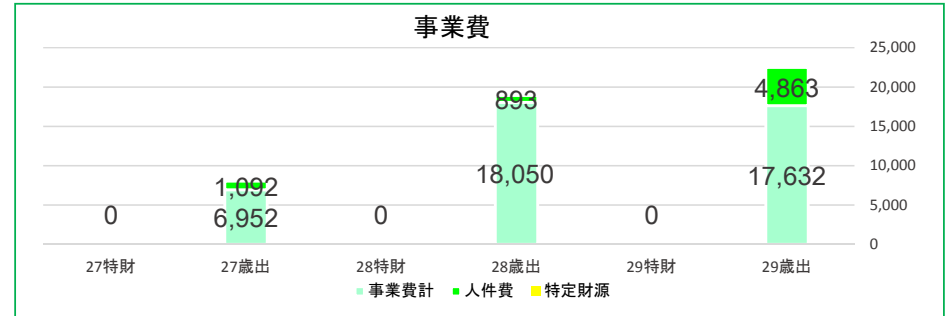


直接経費の分析	減少した理由：継続事業の香登川改修が完了したため。
人件費の分析	
今年度の改善点	
次年度の方角性	改良箇所を十分に精査し、投資効果を考慮しながら優先順位をつけて事業を進めていく。

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	担当課	建設課
	基本計画	05	安全に暮らせるまち	職・氏名	土木係長 岡村 悟
	施策	17	河川改修・砂防施設整備	電話	0869-64-1835
事務事業名	02	河川維持管理事業		法令名	河川法

事業の説明	事業概要	河川構造物の老朽などによる部分的な修繕や小規模な浚渫を行なう。			
	主な事業費	修繕料 9,353,880円（うち日生287,388円、うち吉永1,468,973円） 河川補修工事 9,353,880円		【事業費合計】17,632,276円	
	特定財源				
	処理実績	工事、修繕件数 H27 21件 H28 38件 H29 28件			
	前年度からの変更点・改善点				

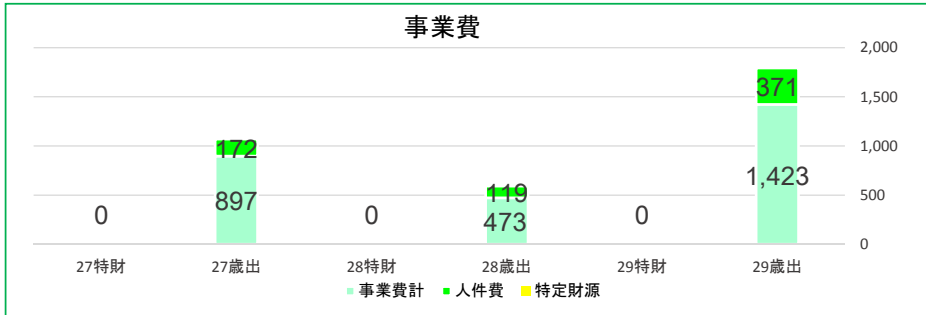


直接経費の分析	
人件費の分析	人事異動に伴う人員配置の変化や地区要望の増加に伴う事務量により人件費が増加している。
今年度の改善点	
次年度の方角性	要望等の内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて事業を実施する。

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	担当課	建設課
	基本計画	05	安全に暮らせるまち	職・氏名	管理係長 中野智子
	施策	17	河川改修・砂防施設整備	電話	0869-64-1833
事務事業名		03	急傾斜地崩壊対策事業	法令名	

事業の説明	事業概要	【急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金】県工事負担金 【急傾斜地崩壊対策要望事務】県工事の要望 ※危険な地域を県が指定して、その区域の用地買収、地元との調整を行った後、危険個所の工事（擁壁の設置など）を実施する。			
	主な事業費	【負担金補助及び交付金】：1,422,766円（急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金） 【事業費合計】1,422,766円			
	特定財源				
	処理実績	急傾斜区域指定・整備箇所	H27：0件	H28：0件	H29：0件
	前年度からの変更点・改善点				

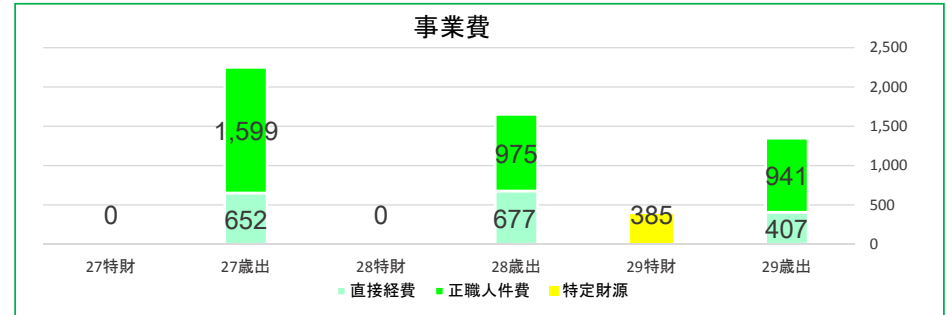


直接経費の分析	増加した経費：負担金補助及び交付金（理由：急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金の増）
人件費の分析	県事業実施に伴う地元協議、調整等に係る人件費の増となった。
今年度の改善点	防災上必要な事業であるため、地域からの要望を精査し、県への働きかけをしていく。
次年度の方角性	急傾斜地崩壊対策事業を県へ要望し、用地測量等の事業が実施されている。近年の異常気象により局地的な災害が発生しており、今後も地区の要望を受け、未指定地については区域指定を受けて整備する必要がある。

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	担当課	建設課
	基本計画	05	安全に暮らせるまち	職・氏名	管理係長 中野智子
	施策	17	河川改修・砂防施設整備	電話	0869-64-1833
事務事業名		04	県河川維持管理事業	法令名	

事業の説明	事業概要	【樋門等管理委託事業】県施設の樋門の管理 【河川維持管理要望事務】河川管理の要望			
	主な事業費	【委託料】：384,900円（樋門等管理委託料） 【負担金補助及び交付金】：18,000円（吉井川下流改修促進協会負担金） 【負担金補助及び交付金】：4,000円（ダム所在市町村全国協議会負担金） 【事業費合計】406,900円			
	特定財源	県委託金 384,900円			
	処理実績	樋門設置か所	H27：13か所	H28：13か所	H29：13か所
	前年度からの変更点・改善点				



直接経費の分析	増加した経費：〇〇費（理由： ） 減少した経費：××費（理由： ）
人件費の分析	事務改善等による効率化： アウトソーシング等による効率化：
今年度の改善点	地域住民が安心して生活するために樋門の管理は必要であり、地元、市が協力し管理する。
次年度の方角性	地域住民が安心して生活するために樋門の管理は必要であり、今後も引き続き地元、市が管理していかなければならない。